

事業所名

放課後等デイサービスなかま

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

16日

|              |           |  |   |     |    |     |     |         |         |   |    |
|--------------|-----------|--|---|-----|----|-----|-----|---------|---------|---|----|
| 法人（事業所）理念    |           | 子ども・保護者とその家族・支援者 関わる人が皆笑顔になれる  |   |     |    |     |     |         |         |   |    |
| 支援方針         |           | 遊びながら学ぶ<br>→集団・個人での遊び、体・頭を使う遊び、外・部屋での遊び、職員・友達との遊び すべての遊びに意味を持たせ子供たちの成長を支援します   |   |     |    |     |     |         |         |   |    |
| 営業時間         |           | 放課後  | 10時   | 00分 | から | 18時 | 30分 | まで      | 送迎実施の有無 | ○あり   | なし |
|              |           | 土曜<br>長期休暇   | 9時  | 00分 | から | 17時 | 30分 | まで      |         |   |    |
| 支 援 内 容      |           |  |   |     |    |     |     |         |         |   |    |
| 本人<br>支<br>援 | 健康・<br>生活 | ○心身の把握   | 利用時の体温測定を行い、また本人の体調の確認を行います。そして本人が自分から体調を表現できるよう声掛けしていきます。<br>→「健康・生活」  |     |    |     |     |         |         |   |    |
|              |           | ○健康の増進   | 食事を摂る・衣類の着脱・排泄といった基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。<br>→「健康・生活」  |     |    |     |     |         |         |   |    |
|              | 創作<br>活動  | ○工作活動  | 色紙で作る小さな作品から、段ボールを使った大きな作品まで様々な作品の制作ができます。職員は子供たちが自分でできる所を見極め自分でできるように手伝う箇所を少なくし完成の楽しさを感じる事ができます。<br>→「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」                       |     |    |     |     |         |         |   |    |
|              |           | ○音楽活動  | 施設内にピアノ・電子オルガンがいつでも使える状態にあります。特別なひらがな楽譜を使い引ける楽しさを得る事ができます。<br>→「運動・感覚」  |     |    |     |     |         |         |   |    |
|              | 運動        | ○個人・集団での活動（運動）   | 集団での遊びの際、同じ遊び（ドッジボール・鬼ごっこなど）をするなかまを見つけ 自ら声をかけ活動を始め、また集団での活動が難しい子には職員が声をかけ、個人に沿った遊び（ボール投げ・トランポリン・三輪車）を提案しています。<br>→「人間関係・社会性」「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」 |     |    |     |     |         |         |   |    |
|              | 認知・<br>行動 | ○遊び  | 立体パズルやジェスチャーゲームなどの遊びを通じ、空間把握・物の見方・具体的な状態などを判断し認知能力を高める活動をしています。<br>→「認知・行動」   |     |    |     |     |         |         |   |    |
|              |           | ○意思決定  | 可能な限り本人からの要求を待つようにしています。職員の指示で行動するのではなく、自分たちの意思で行動ができるよう心がけています。<br>→「認知・行動」  |     |    |     |     |         |         |   |    |
|              | 特別<br>活動  | ○施設外活動   | 夏期休暇中、特別な活動を考えてもらいます。【『映画を見たい』『電車に乗りたい』『水族館に行きたい』『プールに行きたい』など】次にその活動の予算・時間を考え実現方法を考えていきます。  |     |    |     |     |         |         |   |    |
| 家族支援         |           | 保護者と子供が楽しく過ごせる：学校や他施設と連携を取りながら利用児童（ご兄弟を含む）やそのご兄弟についての相談もお話下さい。べっぴん優ゆうでは相談支援事業も行っていきますので、職員や相談員から適切なアドバイスをさせていただきます。また利用の際保護者の仕事や用事により利用時間の調整、延長の受け入れを行っています。 |   |     |    |     |     | 移行支援    |         | 本人の発達の段階により、一人で歩いて来たり、バスを使い施設まで来る子がいます。また近くの小学校では歩きのお迎えをしています。事業所で支援し、習得した行動を学校や家庭などで |    |
| 地域支援・地域連携    |           | ○地域での活動を積極的に紹介し参加を促します。『どんど焼き』『ふるさと祭り』<br>○公園に行き、地域の子供達と関わりを持つ事があります。  |   |     |    |     |     | 職員の質の向上 |         | 内部・外部（随時）の研修を行っています。毎月全事業所合同での本部会議を行っています   |    |
| 主な行事等        |           | 季節に合った行事を行い、四季を感じる取り組みをしています。『焼き芋』『節分』『夏祭り』『流しそうめん』『団子づくり』『ハロウィン』『クリスマス会』『誕生日会』『クッキング』   |   |     |    |     |     |         |         |   |    |